

---

## 2061. ピックアップ本数差異 一覧照会

---

業務コード	業務名
IPD	ピックアップ本数差異一覧照会

## 1. 業務概要

システムに登録されているブッキング情報のブッキング本数と、空コンテナピックアップオーダー情報のピックアップ本数の合計本数に差異があるブッキング番号について、本船単位（船会社コード、積載予定船舶コード\*<sup>1</sup>、航海番号、積出港等\*<sup>2</sup>単位）に一覧として照会する。

（\* 1）積載予定船舶名に入力がある場合は、積載予定船舶名も含む。

（\* 2）積出港等とは、照会種別が「A」の場合は「積出港」とし、照会種別が「B」の場合は「積出港」及び「荷受地」とする。

## 2. 入力者

船会社、船舶代理店、CY

## 3. 制限事項

なし

## 4. 入力条件

### （1）入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

### （2）入力項目チェック

#### （A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

#### （B）項目間関連チェック

なし

### （3）ブッキング情報DBチェック

入力された船会社コード、積載予定船舶コード、航海番号及び積出港等に対するブッキング情報DBが存在し、以下の条件を満たすこと。

①ブッキング本数と、当該ブッキング番号に関連する空コンテナピックアップオーダー情報のピックアップ本数の合計本数に差異がある。

②入力者が船会社の場合は、入力された船会社コードに対する利用者として登録されている。

③入力者が船舶代理店の場合は、ブッキング情報の登録者または通知先（その他）として登録されている。

④入力者がCYの場合で、照会種別が「A」の場合は、積出港CYとして登録されている。

⑤入力者がCYの場合で、照会種別が「B」の場合は、荷受地CYとして登録されている。

## 5. 処理内容

### （1）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

### （2）ブッキング番号抽出処理

入力された船会社コード、積載予定船舶コード、航海番号及び積出港等が登録されており、前述4.

（3）の条件に合致するブッキング番号をブッキング情報DBより抽出する。

### （3）出力情報出力処理

ブッキング情報DBよりピックアップ本数差異一覧照会情報の編集及び出力を行う。出力項目につい

ては「出力項目表」を参照。

(4) 注意喚起メッセージ出力処理

出力された情報の他に照会対象となる情報が存在する場合は、注意喚起メッセージとしてピックアップ本数差異一覧照会情報に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
ピックアップ本数差異一覧照会情報（積出港情報）	以下のいずれかの条件を満たすとき、出力する （1）照会種別が「A」である （2）エラーである	入力者
ピックアップ本数差異一覧照会情報（荷受地情報）	照会種別が「B」の場合	入力者

7. 特記事項

ピックアップ本数差異一覧照会情報については、以下の順でソートして出力する。

- ①荷送人名
- ②船卸港 1
- ③船卸港 2
- ④最終仕向地
- ⑤荷受地\*<sup>3</sup>
- ⑥ブッキング番号

（\* 3）ピックアップ本数差異一覧照会情報（積出港情報）のみ荷受地でソートして出力する。